

学校評価の結果と今後の取組について

校長 田丸 耕造

2学期末には、「清水小学校の充実・改善に役立つ調査」(学校評価)にご協力いただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様からいただいたアンケートの結果やご意見を資料としてまとめ、学校関係者評価委員の方々に、学校の取組や改善についてご意見をいただきました。資料後半部に掲載しておりますので、ご覧ください。保護者、地域の皆様のご意見を真摯に検討し、来年度の学校教育に役立て、児童の健全な育成に一層努めてまいりたいと思います。
 令和元年度も残り少なくなっており、今までの温かいご理解とご協力にお礼を申し上げますとともに、本年年度の総仕上げに向けて引き続き、ご支援を賜りますようお願いいたします。

1 学校評価の集計結果

A:よくできている B:できている C:あまりできていない D:できていない E:わからぬ
 保護者回収率 約87%

番号	評価項目	A:よくあてはまる	B:だいたいあてはまる	C:あまりあてはまらない	D:あてはまらない	E:分からない	肯定率 (%)	グラフ
1	学校は、児童の成長に効果的な教育活動を実施している。	81	222	10	1	5	96.5	25.4 69.6
2	学校は、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	70	210	22	2	15	92.1	21.9 65.8
3	学校は、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	59	197	27	9	27	87.7	18.5 61.8
4	学校は、将来に夢を持ち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている。	31	188	47	5	48	80.8	9.7 58.9
5	学校は、安全な環境づくりや指導を行っている。	111	187	15	2	4	94.6	34.8 58.6
6	学校は、健康的で規則正しい生活を送る児童を育てている。	131	169	11	1	7	96.2	41.4 53.0
7	学校は、特別な教育的支援を必要とする児童に対して、個に応じた指導を適切に行っている。	60	149	21	7	82	88.2	18.8 46.7
8	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	113	178	14	5	9	93.9	35.4 55.8
9	学校は、学校・学年だよりやHP等により、積極的に情報を発信している。	123	173	19	0	3	94.0	38.7 54.4
10	学校や教職員は、保護者の相談に誠実に対応している。	105	165	19	4	26	92.2	32.9 51.7

番号	評価項目	A:よくあてはまる	B:だいたいあてはまる	C:あまりあてはまらない	D:あてはまらない	E:分からない	肯定率 (%)	グラフ
1	学校の行事(運動会や音楽会など)に楽しく参加している。	376	62	11	6	4	96.3	81.9 13.5
2	総合的な学習の時間(わくわく)での活動に楽しんで取り組んでいる。	321	117	11	4	6	96.7	69.9 25.5
3	学習中、進んで発表したり書いたりしている。	208	171	67	8	5	83.5	45.2 37.3
4	先生の教え方はよく分かり、楽しく学習に取り組んでいる。	326	104	17	5	5	95.1	71.3 22.8
5	進んで本を読んでいる。	240	137	57	19	5	83.2	37.4 29.9
6	家族や地域の人、友達に自分からあいさつをしている。	261	139	39	14	5	88.3	52.0 30.3
7	清水小はいじめや悪口がなく、みんなが仲よく助け合える学校である。	244	137	37	15	22	88.0	53.5 30.1
8	夢や目標に向かって努力している。	316	103	18	10	10	93.7	69.1 22.5
9	学校は安心してのびのびと活動できる場所である。	313	99	21	15	6	92.0	63.8 21.8
10	早寝・早起き・朝ごはんなどの習慣が身に付いている。	283	125	27	16	7	90.5	61.5 27.3
11	進んで運動したり、外で遊んだりしている。	291	100	46	14	6	86.7	67.2 22.9
12	パソコンやテレビなどを使った学習が楽しい。	374	51	17	7	5	94.7	83.8 21.8
13	困ったことや分からないことがあるとき、先生に相談できる。	235	140	50	23	9	83.7	58.9 21.8
14	掃除や作業のときに進んで体を動かして働いている。	344	91	13	6	3	95.8	83.8 21.8

2 保護者の皆様からいただいたご意見やご質問 (→学校の回答)

- 教育内容・指導方法に関する内容**
- 縦割り班活動で、高学年が自然に低学年をサポートし学校づくりに関わっている姿がすばらしい。
 - 地域の方々と触れ合える時間があり、本当に貴重ですばらしい。
 → 縦割り班活動や高齢者等との関わり、音楽会など本校教育課程への賛をいただきありがとうございます。子どもたちに21世紀を生き抜く力を育む教育を今後も推進していきます。
 - ていねいに赤ペンで直してくれたり、称褒のコメントを書いてくれたり非常に細かいところまで見てくれていることに感謝している。
 - 熱心に、緊張感のある授業で子どもの学習意欲が高まっている。
 - 宿題・自主学習などに毎日目を通してもらっている。行き届いた小学校だ。
 - ▲ 明らかに間違った式を書いている場合など、理由をはっきりとしっかり指導してほしい。宿題やテストの間違いをそのまま持ち帰ることがある。
 - ▲ 理解度に差があるため、できている子ができていない子を待ち手持無沙汰になっているか。子どもは進み具合が遅く退屈だと感じている。
 → いろいろな子どもの特性に応じながら指導を行っていますが、指導方法に疑問を感じられましたら、遠慮なくご相談ください。保護者の皆様とよりよい方法を見つけていきたいと思ひます。

- 教育相談に関する内容**
- 相談すると真剣に向き合ってくれ感謝している。(3)
 - 子どもたちは、何かあれば先生を頼れると言っている。
 - ▲ 学校に相談してもきちんと対応してくれない。

- 学校安全に関する内容**
- 登下校の見守りに感謝している。安心している。(3)
 → 文科省は、登下校の見守り活動は教職員の職務ではないとの指針を出している中で、子どもたちの安全を優先し、清水小教職員は主体的に登下校の見守り活動を行っています。今後、見守り活動の維持・継続が課題になることが予期されます。
 - ▲ 春頃、子どもが虫に刺されて帰宅することが多かった。運動場の樹木の害虫の駆除をお願いしたい。
 → 年2回、定期的に消毒を行っています。掃除の方法の工夫で虫刺されを予防したいと考えます。
 - 関東の学校では、防災頭巾を児童席に吊るし避難訓練でも活用していた。南海トラフ地震に備えて防災頭巾の常備を希望する。
 → 防災頭巾の常備は、予算的に難しいと考えます。清水小では、さまざまな機会をとらえて防災教育を推進していきます。個人的に防災頭巾を学校に持参し常備させることは可能です。

- 情報発信に関する内容**
- ▲ HPの写真を鮮明にしてほしい。遠方の祖母も楽しみにしている。
 → 個人情報保護の観点から写真のサイズ・解像度を落とし個人が特定されないようにさせていただいています。ご理解をお願いします。

- 不適切な指導に関する内容**
- ▲ 不適切な言動を注意しないと、子どもには「やってもいい」というメッセージになる。一人の先生にできることは限られている。学校でのサポートを。(2)
 - ▲ 指導時の言動には注意してほしい。暴言ではなく理解できるよう言葉で説明してほしい。不登校の原因を学校側が作らないでほしい。
 - ▲ 子どもたちの一つ一つの行動には、その子なりに意味があったり原因があったりする。子どもの気持ちや真意を見極めて対応してほしい。
 - ▲ 言葉遣いが乱暴な先生がいる。威圧的に接することを改めてほしい。
 → 子どもたちには「だめなことはだめ」と毅然とした態度で指導をしていきたいと考えていますが、近年その指導が非常に難しくなってきました。子どもたちの心に寄り添いながら、心に届く指導を心がけます。保護者の皆様のご協力をお願いします。

- いじめに関する内容**
- ▲ いじめにつながる子どもの言動がある。
 - ▲ 指導をしてくれていると思うが、学年があがるにつれ仲間外れに悩む子がいる。
 → 「いじめは存在する」との前提に立ち、子どもたちに指導を行っています。日々の生活を通して、子どもたちの心を耕し、子どもたちの力でいじめを排除する力を育てていきたいと考えています。具体的な事案がありましたら、すみやかにご相談ください。

- 特別支援教育に関する内容**
- ▲ 特別支援教育を十分理解していない先生がいる。子どもの実態に合わせた声掛けをお願いしたい。

- ▲ 特別な支援を必要とする子どもの保護者に、協力の呼び掛けをしてほしい。
 → 専門家の指導を仰いだり学校生活支援員を活用したりしながら、子どもの特性に応じたよりよい対応を心がけていきます。インクルーシブ教育充実のために保護者の皆様のご協力をお願いします。

- 教職員へ**
- 熱心で丁寧な指導をしてくれる先生が多く、安心して学校へ送り出せる。(3)
 - 多様な大勢の子どもたちをかかえ、日々指導する先生に感謝している。(3)
 - 子どもたちは毎日楽しく学校に通っており、感謝している。(6)
 - 子どもたちは先生を信頼している。適切な指導に感謝している。(2)
 - 先生は優しく、子どもは先生のことが大好きだ。(2)
 - 子どもたちをあたたく見守ってもらっている。いつもやわらかい対応に感謝している。子どもたちもとてもいきいきと楽しそうだ。(2)
 - 落ち着いた安心した環境で学校生活を送ることができている。(2)
 - 先生方が十分に休みをとってストレスがたまらないようにしてほしい。
 → 本年度も、保護者の皆様から教職員への温かい励ましの言葉、心強い応援の言葉をたくさんいただきましたことに感謝します。持続可能な職場環境作りを目指し、教職員の働き方改革を進めながら、子どもたちにとってもよりよい清水小であることを願って、今後も教職員一同誇りをもって清水小教育の推進に取り組んでまいります。

- その他**
- ▲ 申込用紙に締切り期限が書いてなかったり、必要な物の連絡がなかったり雑だ。
 - ▲ 旗当番の保護者にもきちんとあいさつをさせたい。
 - ▲ 子どもは歯ッピーカレンダーをまとめてつけている。意味がない。
 - ▲ 担当者によって部活の方針が変わることがないようにしたい。
 - ▲ あまり雰囲気よくない店へ女兒だけで何度も入店している姿を見た。学校で指導していただきたい。
 - ▲ 給食の残食が少ないのはよいことだ。好き嫌いをなくす指導もしてほしい。
 - ▲ 教員が地元中学校への進学を勧める発言はいかがか。適切な指導、書類作りをしてもらえるか不安になる。
 - ▲ 休憩時間をしっかりとって子どもたちがゆっくり遊べるようにしてほしい。
 - コンピュータ教育の説明をお願いしたい。家庭でも準備したい。
 - 春休みや冬休みにも学習相談日を設定してほしい。

- 3 学校関係者評価委員より**
- 学校関係者評価委員の皆様よりは、本校教育の現状を肯定的に評価していただきました。ただ、教職員の超過勤務の現状や働き方改革の進捗につきましては、課題のご指摘とともに一層の努力が求められました。以下、評価委員の皆様からいただいた主なご意見です。
- 全国学力・学習状況調査や県学力診断調査の結果が、国・県の平均を大きく上回っている。確かな学力が身に付いており、自己有用感・規範意識が高い清水小の子どもたちのよいところを今後も伸ばして欲しい。
 - いきがい交流センターの高齢者との交流や異学年交流の充実などが、子どもたちの自己有用感を高め思いやりの心を育てている。今後も交流活動の充実にも努めてほしい。
 - 業務内容の精選、働き方改革を一層進め、教職員の本来の仕事である子どもと向き合う時間をしっかりと確保したい。
 - 社会教育や家庭教育の責任をもっと自覚すべきである。保護者や地域は学校任せせず、登下校の指導や子どものしつけなどに積極的に関わらねばならない。

保護者の皆様、学校関係者評価委員の皆様、貴重なご意見をたまわりありがとうございました。皆様のご意見を真摯に受け止め、常に子どもを中心に据え、子どもたちの将来にとってよりよい清水小教育であるよう、教職員一同で改善に取り組んでまいります。また、教職員の働き方改革にも取り組みます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

